

交野市立交野みらい学園人の警備業務委託

仕 様 書

交 野 市
教 育 委 員 会

1. 目的

本仕様書は、交野市立交野みらい学園の施設・設備等教育財産の警備並びに児童・生徒の安全を確保するため専門業者に委託するものであり、警備員による人的警備を実施するものである。

2. 委託名称

交野市立交野みらい学園警備業務委託

3. 委託期間

令和7年4月1日～令和9年3月31日（24か月）

但し、契約締結日から令和7年3月31日までは準備期間とする。

4. 委託場所

交野市立交野みらい学園（交野市私部1丁目54-1）

5. 警備時間

人的警備（重点警備）の業務時間は、別表①「業務時間一覧」とする。

但し、学校の行事等により警備業務時間を変更できるものとする。

（1）超過勤務

超過勤務が発生した場合は超過勤務手当を支払う。

毎月合計して1時間未満の端数が30分以上は1時間とし、30分未満は切り捨てる。

但し、他の日で調整可能なものは甲と乙が協議して決定する。

6. 業務内容

人的警備（重点警備）

①警備員は1名とし、速やかに警備員名簿（指定様式）を2部提出すること。

②当該業務に従事する警備員について、責任感厚く誠実で健康なものを充てること。

③警備員は常に委託場所の火災予防、盗難防止、不審者侵入防止、来客の応対、郵便物・荷物等の受領等を行うこと。

④職員等が委託場所を使用している場合は、終了するまで人的警備を行うこと。

⑤退出する時は、火気・消灯状況・不法侵入者の有無を再確認し施錠後、警備装置を起動後に退出すること。

⑥児童・生徒の登校日には、正門および指定出入口の開放を行い児童・生徒の登校時は正門で立哨警備すること。

⑦ガス・水道メーターの数値（出勤後と退勤時）を記録して異常があれば（例えば、漏水の疑いなど）速やかに校長または教頭へ報告すること。

⑧外部団体が学校開放事業等で屋内運動場の空調機を使用する時は、空調機の電源の操作をすること。

⑨土曜日又は日曜日・祝日・休校日に点検や工事が行われる際には、業者の求めに応じ、該当箇所の開錠・施錠を行うこと。

⑩年間常日に国旗掲揚を行うこと。

7. 提出書類

委託関係書類について担当職員と協議を行い提出すること。

8. 緊急事態発生時の処置

自然災害、漏電・漏水等の緊急事態が発生したときは、警備員は臨時の処置をとり、校長及びまなび舎整備課長に急報するとともに、関係機関にも連絡するなどの緊急事態の掌握にあたること。

9. 鍵の受託

警備実施に必要な鍵は、甲・乙相互に保管し、それぞれの厳重な取扱いと保管を行うこと。

10. 機密保持

警備業務委託で知り得た情報及び資料等は、一切に漏洩してはならない。

11. 服務規律

乙（従事者も含む）は、次の勤務規律を守ると共に業務の履行に当たっては善良なる管理者の責務を以ってあたるものとする。

- （1）乙は、従事者に対して業務の履行に必要な教育及び指導を行うこと。
- （2）乙は、業務の履行の場合において教育的配慮をもって言動その他に十分注意を払うこと。
- （3）乙は、警備員に所定の制服制帽を着用させ、常時身分証明書を携帯させること。
- （4）学校敷地内は禁煙とする。（車内での喫煙、電子タバコ等も一切認めない）。
- （5）自動車通勤は不可とする。

12. その他

- （1）支払いについては、当月分を翌月に請求し、翌々月払いを基本とする。
- （2）乙は、業務中の過失により物品を滅失、損傷したときは、直ちに教頭へ報告し、その指示に従うこと。
- （3）乙は、過失によって市に損害を与えたときは、直ちに会社に報告し、賠償について甲と協議すること。
- （4）乙は、警備日誌を作成し、警備終了時（夜間については翌朝）に校長の確認印を受け、当月の警備日報を翌月の5日までに通送便でまなび舎整備課に提出すること。
- （5）学校閉庁日等で複数の日に変更が生じる場合は、その期間の差額等で別途契約を結ぶよう調整すること。
- （6）乙は、国によって新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第32条第1項に基づく緊急事態宣言が発出した場合、国または地方公共団体からの要請がある場合など感染拡大防止措置を求められた際には、業務従事者の健康管理維持に留意すると共に感染拡大防止策を講じること。
- （7）仕様書に定めのない事項及び疑義が生じたときは、甲・乙協議して定める。
但し、軽微な事項は乙の責任においてなすものとする。

以上